

重要情報シート（個別商品編）

水戸証券

1. 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	iFreeETF 米国10年国債先物インバース ・ 上場投資信託
組成会社（運用会社）	大和アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	S&P10年米国債先物インバース指数を対象指標（以下「対象指標」といいます。）とし、対象指標に連動する投資成果（基準価額の変動率が対象指標の変動率に一致することをいいます。）を目指します。
対象指標の概要	S&P10年米国債先物インバース指数は、原指標であるS&P10年米国債先物指数の騰落率の－1倍として計算された指数です。S&P10年米国債先物インバース指数の基準日は1999年12月1日であり、基準値は100 ポイントです。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	<p>短期間の取引による売買差益の獲得を目的とし、大きく元本割れするリスクを許容することができ、さらに、以下についてご理解いただける方に適しています。</p> <p>(1) インバース倍率に比した高リスク商品であり、投資経験が少ない投資家向けの商品ではありません。</p> <p>(2) 以下の理由から中・長期の投資に適しません。</p> <p>① 2営業日以上保有する場合、基準価額の変動率が、対象指標の参照する原指標の変動率の－1倍とは、通常は一致しません。また原指標の値動きが上昇・下落を繰り返した場合、マイナスの方向に乖離が生じる可能性が高くなります。</p> <p>② 本商品は、先物取引を用いた運用を行うため、先物取引の次限月以降の限月への乗換え（ロールオーバー）に伴って、対象指標の変動率と基準価額の変動率との間に乖離が発生する可能性があります。</p>
パッケージ化の有無	この商品は、複数の金融商品を組み合わせた商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- 質問例 ① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株価指数先物取引を積極的に活用しますので、株価変動の影響を受けます。</li> <li>・ 投資先企業等の重大な危機や、デフォルトの懸念等により株価に影響を受けます。</li> <li>・ 市場規模や取引量が少ない場合、期待した価格では取引できないことがあります。</li> <li>・ 本商品は、対象指標が参照する原指標の－1倍の変動率を日々で達成するように運用されるため、日次ではなく2営業日以上運用期間を見た場合には、本商品の基準価額の変動率は、対象指標の参照する原指標の変動率の－1倍とは通常は一致しません。また、原指標の値動きが上昇・下落を繰り返した場合、マイナスの方向に乖離が生じる可能性が高くなります。さらに、一般的に期間が長くなれば長くなるほど、その乖離が大きくなる傾向があります。</li> <li>・ 本商品は、先物取引を用いた運用を行うため、先物取引の次限月以降の限月への乗換え（ロールオーバー）に伴って、対象指標の変動率と基準価額の変動率との間に乖離が発生する可能性があります。</li> <li>・ 本商品の市場価格は、取引所における競争売買を通じ、需給を反映して決まるため、必ずしも基準価額と一致するものではありません。</li> </ul>
--------------	--

## 重要情報シート（個別商品編）

## 水戸証券

(参考) 過去1年間の収益率	(本商品は2024年2月設定のため、該当事項はありません)
(参考) 過去5年間の収益率	(本商品は2024年2月設定のため、該当事項はありません)

※損失リスクの内容の詳細は、当社の「上場有価証券等書面」、または組成会社が作成した「交付目論見書」をご覧ください。

- 質問例** ④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。  
 ⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

### 3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.495%（税抜0.45%）以内 その他の費用・手数料等がファンドから支払われますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。（2024年2月25日現在）
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。（2024年2月25日現在）

※購入時に支払う費用は、当社の「上場有価証券等書面」をご覧ください。その他の費用は、組成会社が作成した「交付目論見書」をご覧ください。

- 質問例** ⑥ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。  
 ⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還等により上場廃止される場合があります。
この商品を売却する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。

※本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者等を通じて、取引所市場で売却することになります。  
 ※売却時に支払う費用は、当社の「上場有価証券等書面」をご覧ください。

- 質問例** ⑧ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

### 5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別の関係はありません。
当社の営業員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、「お客さま本位の業務運営を実現するための方針」の「利益相反の適切な管理」をご参照ください。（<https://www.mito.co.jp/policy/fd.html>）



- 質問例** ⑨ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

### 6. 租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

税金は表に記載の時期に適用されます。以下の表は、個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

分配時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	配当所得として課税 収益分配金に対し 20.315%
売却時及び 償還時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	譲渡所得として課税 売却時及び償還時の差益（譲渡益）に対して 20.315%

7. その他参考情報（契約にあたっては、当社Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

販売会社（当社）が作成した「上場有価証券書面」	<a href="https://www.mito.co.jp/risk/index1.html">https://www.mito.co.jp/risk/index1.html</a>	
組成会社が作成した本商品にかかるウェブページ※「目論見書」ファイルをご覧ください。	<a href="https://www.daiwa-am.co.jp/etf/index.html?sct-etf">https://www.daiwa-am.co.jp/etf/index.html?sct-etf</a>	

上場有価証券等の売買等を行うにあたっての注意事項等をまとめた「上場有価証券等書面」、金融商品の内容等を記した「交付目論見書」については、ご希望があれば、紙でお渡しします。

※（作成日）2024年8月